

川島町地域公共交通計画 前回の会議時点の計画からの修正点

	指摘内容	修正後 該当 ページ	修正点・対応方針
1	出典が平成27年国勢調査だったものを令和2年国勢調査に更新	P8,9	国勢調査結果が公表されたため、最新のデータに差替
2	タクシー業界としては自家用車のライドシェアは反対しているので、海外事例のUberの記載の仕方を再検討するべき	P19	Uberシステムはタクシーだけでなく自家用有償の配車アプリとして京丹後市が有名なので「配車サービス」の導入として修正。海外のライドシェアはUberだけではないので他のシステムも追記。
3	実施主体の記載順を川島町、地域公共交通会議、県、交通事業者、関係機関や公的施設、地域、企業とする	P71～	記載順を統一
4	全体的に高齢者というキーワードが少ない、施策②のかわみんタクシーのなかで高齢者対応を記載する	P72	施策②の目的に「高齢者や学生など、障がい者など、誰もが利用しやすい運行形態を検討するとともに、～」を追記。乗り合わせは、まずは利用者に周知してもらうこと、そして制度理解による乗り合わせの重要性を認識してもらうことの両面で、利便性と継続性の促進と記載。
5	「いちねん定期券」は通学定期券としてはお得、もっと周知させたい	P79	PRのため「学生いちねん定期券」のパンフレットの一部を記載、乗り越しは差額分の支払いのみであることも追記
6	現在ボランティア団体が高校生を駅まで送迎している。地域が主体となって取組む施策として、通勤支援施策に追記する。	P79	施策⑧に「ボランティア送迎の継続」を追記、経済的支援だけではない事業も含めることから施策タイトルから“経済的”を削除
7	ボランティアによるバス停までの送迎とバス通学利用の経済的支援を組み合わせるなど、利用実態を見ながら施策の組み合わせを検討するとよい	P79	「今後、路線バス利用との組み合わせ等を含め、利用ニーズに応じたサービス展開やサポートを検討していきます。」と追記
8	施策にも目標値を設定して年度ごとに評価してはどうか	P86	実施時期で示している事業内容とスケジュールが施策の業績評価指標であり、進捗状況を本計画のなかで管理することで評価に値する。また数値目標・目標値も施策の目標あり、毎年度評価するため、その流れが理解しやすいように「第9章計画の推進方策」に記載する。
9	委員名簿の更新	P96, 97	第1回・第2回の会議の名簿、第3回以降の会議の名簿を記載
10	用語解説を記載	P103～	記載順を修正
11	誤字脱字の修正	全体	全体の誤字脱字の修正
12	国土交通省のガイドラインにあわせて「数値目標」を「数値指標」に修正	全体	「数値指標」に修正。 現行計画（川島町地域公共交通網形成計画）では数値目標と記載しているので、現行計画についてはそのままとする。
13	企業送迎バス運行事業者へのヒアリング等を行っているか	-	修正なし（来年度以降の企業送迎バス活用検討のなかで必要に応じてヒアリング等を実施する）
14	企業送迎バスよりも、スクールバスの活用可能性のほうが町としては検討スタートしやすいのではないか	-	修正なし（スクールバスの活用は運行制度や座席サイズ等の課題があり、来年度以降も引き続き検討する）

川島町地域公共交通計画 町民コメント実施結果について

- 1 募集期間
令和4年12月13日(火)から令和5年1月11日(水) 30日間
- 2 意見を提出できる方
町内在住、在勤の方、この案に関し、利害関係を有する方
- 3 資料の閲覧場所
町ホームページまたは政策推進課政策・財政グループ
- 4 意見と町の対応
意見なし